

送りバント

幹事 三村 重人

皆さまの貴重な会報に大きな枠をいただきました。しかも、自由にテーマを設定してよいとのこと、このような機会は今後まずないと思うので、前半はロータリーについての雑文を、後半は私的なことを少し書かせていただきました。

『岡本さん』とかけて、『岡山後楽園ロータリークラブ』と解きます。そのころは？

まずは、ロータリーについての思いを書かせていただきます。

僕の二男(小学6年)は3年生から少年野球を楽しんでいます。

彼は、野球を始めてすぐ2回も足の靭帯を損傷し、最初の1年間はほとんどプレーできず、練習は見学のみ、試合ではバット引きだけを一生懸命がんばりました。バット引きは、バッターが一塁に走るときに投げ捨てたバットを取りに行き、ベンチに持って帰るだけのつまらない仕事です。

僕は、たかがバット引きを一生懸命やる二男に動機を尋ねました。二男は、「僕は足が痛くて何もできない。一生懸命プレーしている6年生の役に立てるのはバット引きくらいしかない」と言いました。僕は、小学4年生のガキンチョの団体競技における心理から、人間社会におけるおそらく最も素朴な在り方の奉仕の精神を見たように思いました。

ちなみに、二男は、小学校最後の公式戦で送りバントを決め、最後の打席でチーム唯一の打点付きヒットを打つことができました。

昨年度は創立35周年記念事業があり、クラブ外のお客さまとの交流がありました。

今年は、クラブ内の事業をメンバーで楽しむ年でしょう。そして、ロータリーの楽しみは、奉仕を通じた親睦にあると思います。二男の例ではないですが、奉仕は一生懸命やらなければ面白くないし、成果も上がらないでしょう。もっとも、われわれができる奉仕事業は、確実に岡山の地域社会が少しは明るくなるでしょうが、世界平和などのような大きなことはできません。たまには、全く期待外れの結果に終わることもあるかと思っています。ですから、奉仕活動の成果に過大な期待をしない方がいいかもしれません。

では、奉仕を一生懸命取り組むにはどうするか。僕は、一緒に取り組む相手がクラブの友人だからこそ、一生懸命できるのだろうと考えています。成果が上がらなくとも、思い出話を肴に酒が飲める間柄であることが重要です。ですから、皆さんに新しい友人を紹介していただきたいと思っています。

僕としては、とりわけ同じくらいの世代の方に『岡山後楽園ロータリークラブに入ったら思いついたことをどんどんやらせてもらえて楽しいらしい』と感じてもらいたいと思っています。岡本会長は、おそらく同じような思いから、ロータリー歴の若い会員に委員長や副委員長を頼まれ

ました。

こうして、僕は、僕自身が楽しむというよりも若い人が楽しんで会の運営に参画できるような雰囲気を作りたいと思っています。そして、新規入会者が現れれば、ぼくにとっての送りバント成功だと思っています。

なぞかけの答え。どちら

も『カイチョウ』(会長・快調)でしょう。



送りバント

後半、最近の思いつきを話したいと思います。

僕には、小さな悩みがいくつもあります。

- ①滑舌が悪い。→何度も話し方教室に行こうかと思ったが死にはしないので忘れてる。
- ②囲碁がうまくなりません。→どうやら集中力の持続に問題があるようだ。
- ③体重が増えてしまっただけ脂肪肝です。→……。本当に悩んでいるか？
- ④人を惹きつける面白い話ができない。→桂枝雀の話方を勉強しようと思ってる。
- ⑤料理の味付けが下手。→面倒がらず味見をすればいい。
- ⑥二男に嫌われた。→思春期に入りかけているから仕方ない。
- ⑦妻がそっけない。→料理をうまく作ればいいのか？

例会の進行中、スピーカーから流れる滑舌の悪い自分の声を聞いて、ふと自分の欠点や悩みが頭にいくつも浮かんできました。解決可能なのに未解決な悩みばかりです。

小さな悩みは他人に聞いてもらうだけですっきりします。笑える話ならお酒も進んで聞いてくれる人を幸せにできるでしょう。話した人は自分のキャラクターを分かってもらえます。例会進行中に思いついたことですが、「親睦恥ずかしい話大会」の開催は如何でしょうか？

こんなつまらない思いつきを会報に書いてしまったことが一番恥ずかしいです。

ファイヤーサイド・ミーティング

ロータリーの神髄(しんずい)の一端(いったん)を探(さぐ)るー

研修・育成委員長 芝田 堅志



第一回目のファイヤーサイド・ミーティングが親睦活動委員会(菅波委員長)と合同で新年度間もない7月25日(木)に開催されました。

同ミーティングは新会員(特に入会3年未満の方)に、例会だけでは語ることができない事柄を親睦を図りながら基礎知識を学んでいただくものです。

文字通り「炉端会議」です。

ロータリークラブは、年齢も職業も違った人が集まって、仲良くして、自分自身の成長につなげ、ひいては社会に奉仕しようという団体です。仲良くなる一つの方法が委員会活動です。

決められた委員会の中で、知らない人同士が話し、協力していく内にお互いに打ち解けて、相手を知ることになります。

言葉を変えれば、大人の「小学校」とも言えます。「研修・育成委員会」は、新会員の方々が早くクラブに馴染んでいただける手助けの会です。

入会される時に一つのハードルを越えられ、次にクラブを理解して皆さまと親しくなっていくのが、次のハードルだと思っています。

ロータリークラブは、サブの人生であることに気付いていただけるように努めます。

ロータリアンが「カッコいい」のはルックスではなく、「生きる姿勢」が素晴らしいからです。「恰好(カッコウ)」よし・・・あたかもよし・・・は、困難の受け止め方にあります。

会員増強でロータリアンを増やすことは日本を良くすること。

なぜなら、ロータリアンは入会后、多方面、多角度から学ぶ機会を得、学んだことを地域社会、会社を持ち帰って、大切なことを伝え、広めることができるからです。

皆でロータリークラブを楽しみましょう!

今、成長期です!

中野 操会員のお誕生日

直前会長 松井 浩明

中野会員おめでとうございます。

ホテルグランヴィア岡岡で中野会員の還暦パーティーが開催されました。実年齢より、数倍若い中野さん本当におめでとうございます。女性の鏡ですね。

参加者は、126名という多くの方に祝福の言葉、友人たちの演奏、撮影と楽しい会食会を、ご一緒させていただきました。わがロータリクラブから、岡本会長、秋山会員、川本会員、福島会員、丸山会員と松井の5名が参加しました。中野会員のワインが好きな5人衆です。

10月の今頃フランスのワイン地域を満喫しているでしょう。オリンピック・パラリンピック後のフランスはどうでしょう?シャンゼリゼ通り、ルーブル美術館も見物されているでしょう。ボルドーは、東京から大阪くらい、ブルゴーニュは名古屋から横浜くらい、シャンパーニュ地方は大阪から名古屋くらいだから、その地域の沢山の楽しいお話が集中しているのでしょうね。五大シャトー(シャトー・ラフィット・ロートシルト、シャトー・マルゴー、シャトー・ラトゥール、シャトー・オーブリエオン、シャトー・ムートン・ロートシルト)、ペトリュス、ロマネコンティ、

モンラッシェ、土着品種など、味わったことのないワイン聴きたいです。白ワインには魚が合う、なぜなら赤ワインなら魚の味を消してしまう。赤ワインには肉が合う、なぜなら白ワインなら水のようになり、脂身は赤ワインで良い味になるようです。生き字引のような方が会員になっていただきありがとうございます。

中野会員は、シャンパンが大好きと聞きます。ワインは健康寿命を伸ばすお酒の一つです。お店では、それぞれのワイン好きの仲間が飲み、にケーションしに集まっています。私たち、中野会員を囲んで飲み、にケーションしましょう。一緒に若さを保ちましょう。還暦を迎え、おめでとうございます。



お月見例会 ～サクソと二胡のしらべ～

親睦活動委員 犬養 吉晴

令和6年9月19日(木)19時夜間例会の後お月見例会が行われました。

当日は小坂会員の計らいにより18時前よりウェイティングバーがオープンしており、おのずと開会前から雰囲気盛り上がります。

岡本会長が満面の笑みでの挨拶、三村幹事の顔だけ

真面目なウィットにとんだ乾杯の発声によりお月見例会が開会されました。

この度のお月見例会には、次年度のIM(インターンティーミーティング)の打合せに来ていただいていた津山中央ロータリークラブの北原会長、石井会長エレクト兼幹事、松尾副幹事、前原第8グループ次期ガバナー補

続く▶

佐の4名がビジターで参加してくださいました。

歓談の進む中、お月見例会に花を添えるプログラムとして古和会員がアーティスト枠でサックスの演奏をしてくださいました。趣味の範囲とはいえ心のこもった「マイウェイ」演奏に池上会員が歌を添えてくれました。

目玉のプログラムとして岡山岡南ロータリークラブ豊田会長と師匠さんの松林泉さんによる「二胡」の演奏が行われました。この二胡という楽器、皆さん名前前は聞いたことがありますが実物は不思議な楽器です。よ



く見ると二本の弦の間を馬の尾の毛を張った弓でこすって演奏してます。その音色はとても柔らかく透き通っていてまさに月夜の空気を感じる音色でした。紹介して下さった藤原会員、本当にありがとうございました。



親睦ゴルフコンペ

親睦活動副委員長 赤畠 耕一路



岡山後楽園ロータリークラブの親睦ゴルフコンペが令和6年9月23日(月祝)に鬼ノ城ゴルフ倶楽部で開催さ

れました。今年は9月末とはいえ日中は30度越えの暑さの中でのゴルフでした。11名が参加し、ダブルペリア方式により優勝は、守田会員でした。おめでとうございます。

しかし今回は会長賞が優勝者ではなく第8位の方に贈られることになっており、なんと幸運にも赤畠がいただくことになりました。個人的に大変うれしい順位でした。

今回の参加者でベスグロは、75。ほかにも77、79と3人の方が70台のスコアで回り、岡山後楽園ロータリークラブのゴルフレベルの高さがうかがえた1日でした。

秋晴れの中、ゴルフを通して会員同士の親睦を深めることができました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

2024-25年度 国際ロータリー第2690地区大会に参加して

会長 岡本 宮松

今年の地区大会はホストクラブが岡山南ロータリークラブであったため、久しぶりに地元岡山で開催されました。

まずは9月29日地区大会記念テニス大会が岡山県総合グラウンドであり、光岡会員と一緒に参加し、各クラブ参加者と親睦をはかりました。光岡会員は以前の大会で優勝されただけあり今年も見事上位入賞されました。

続いて10月4日には地区大会記念ゴルフ大会が岡山カントリークラブ桃の郷コースで第2690地区から総勢40組150人強のロータリアンが集まり賑やかに開催されました。岡山後楽園ロータリークラブからも腕に覚えあるゴルファー12名が参加し大いに親睦をはかりました。なかでも内山会員はトップ10位以内の6位という素晴らしい成績をおさめられました。

10月5日は岡山コンベンションセンターでガバナー補佐・会長・幹事会があり、国際ロータリー会長代理四宮孝郎さまよりステファニーA.アーチック会長のメッセージと講演がありました。元国際ロータリー理事佐藤芳郎さま、地区ガバナー榊原敬さまからのお話が続き、しっかりと勉強させていただきました。地区目標達成に向け、さらに積極的に行動し、ロータリーのマジックを実現しなければと決意を強くした次第です。

続く10月6日は岡山ドームで本会議、地区ガバナー榊原敬さまから集まりの全ロータリーの会員にあて、地区スローガン「未来への懸け橋をつくろう」「ポリオ根絶・

会員増強」「地域に役立つ奉仕の実践に取り組む」について、人口減少と少子化が進む中、多様な見方や幅広い視野のもと若い世代を巻き込み老若男女の力を結集し、さまざまな奉仕活動を通して未来をよくしていこうというお話がありました。地区大会記念講演はデザイナーの太刀川英輔氏の「変化と生き残る進化思考」と題して、新しいアイデアの生み出し方などの思考パターンを習得し、観察力を磨くことで創造性を上げる等々お話があり大変参考になりました。その後佐藤芳郎元国際ロータリー理事がコーディネーターのもと、「未来への架け橋をつくろう」のスローガンから「次世代が考えるロータリーの奉仕活動」をテーマに、岡山大学ローターアクトクラブ、松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ、岡山南ロータリー地域社会共同隊のトークセッションがありました。友愛広場には地区スローガン「未来への架け橋をつくろう」を使い、大角会員(大角画伯)作パネルは「岡山後楽園ロータリークラブには自転車同好会があります」と題して、中心に橋を渡っているイメージの芝田会員後ろ姿の写真を配し、その下に奉仕活動写真を掲示したところ、各クラブ参加者から“すごくいいね!”をいただきました。

いつも楽しみの懇親会では当クラブ会員の積極的な行動でセンターテーブルの隣を2か所確保でき、またお食事も岡山南ロータリークラブ手配の美味しいお寿司にオードブルがたっぷりあり、飲み物も次々と出してい

ただき、舌もお腹もしっかり堪能、満足させていただきました。予定表になかったことに、懇親会終盤に米子東ロータリークラブ元会長上森英史さまがロードバイクとサイクリング姿で登壇され「エンドポリオ」「ポリオ根絶に寄付を」と声掛けに北海道から鹿児島までサイクリングで日本縦断中の国際ロータリー第2750地区パストガバナー宮崎陽市郎さまのことを紹介されました。そのなかで「岡山後楽園ロータリークラブも宮崎パストガバナーの応援をするために、ロードバイクで随行走行とエンドポリオ寄付活動をされます!」と私たちの岡山後楽園ロータリークラブエンドポリオ活動の紹介もしていた



ただき、私もご指名で登壇し、各クラブから拍手を受けることになりました。

段取りされた鳥越副会長に感謝です。当日はめいっばい働きます。

各記念大会、本会議と熱い暑い熱気の会場の中、本当にお疲れさまでした。ご参加の皆さまと大変有意義で楽しい時間を一緒にできましたことに感謝申し上げ、エンジンジョイロータリーができましたことに御礼申し上げます。

あじさいのおか牛窓秋祭り

副SAA 山下 智教

令和6年10月5日(土)あじさいのおか牛窓秋祭りボランティア活動に岡山後楽園ロータリークラブ会員11名で参加させていただきました。コロナ禍だったということもあり4年ぶりの参加だとお聞きしました。前日の雨天とは違って変わり晴天でとても良いお祭り日和ということもあり利用者さま、ご家族の方、近隣の方たくさんの方が、ご来場されていました。

私も参加するのは初めてということで、どのような活動をするのか直前まで把握できていなく、勝手に利用者さまの車椅子の介助やら歩行の介助などをお手伝いするものだと思っていましたが、実際には模擬店のお手伝いをするとなりました。8種類程度ある模擬店にそれぞれ分散し販売のお手伝いをしました。会員も必死になりそれぞれの模擬店の販売に精を出し売れ行きも好調でした。

中では地元の方たちの余興もあり、とても盛大なお祭りだったと思います。

最後に施設の方からの感謝のお言葉もいただき、次回のお祭りもぜひ参加していただきたいとの熱いオファーもいただけたことで、とてもやりがいを感じる社会奉仕活動ができました。



地区ガバナー公式訪問を終えて

会長 岡本 営松



10月10日(木)アークホテル岡山で第2690地区ガバナー榎原敬さま、随行者大岩道典さまをお迎えしての会長・幹事懇談会並びにガバナー公式訪問例会が開催されました。

会長・幹事懇談会では榎原敬地区ガバナーさまが予定時刻11時より40分程早く来られ、ざっくばらんな会話で始まり、大岩随行者さまも予定より15分前頃到着され早く懇談会が始まりました。岡山後楽園ロータリークラブの参加者は岡本会長、三村重人幹事、鳥越エレクト、大田副幹事、松井次期ガバナー補佐が出席し、地区目標に対しての活動状況、進捗状況を個々報告しました。榎原ガバナーさまからは改めてお考えをお聞きし、終始和やかな中でクラブ運営についてご指導いただきました。

ご指導要旨内容は下記①～⑥のとおりです。

①岡山後楽園ロータリークラブは地区目標については

上回っているのに特にいうことはなし。ご指導の点は、各クラブ共通事項。

②会員の中でマイロータリーの登録手順がわからない、できない会員がいる、クラブ内で周知を。また、ジャパンポータルサイトも活用して欲しい。

③世代交代についてクラブ内の年齢分布に偏りがある。若手の拡大を。

インスタグラムで音楽をつけて拡散を、など。

④会員増強 女性会員を倍增したいが。

⑤アクションプラン 3年任期。会員数拡大。平均年齢70才代強なので。

⑥RAC学生と社会人混在のクラブは運営がうまくいかないので整理する方向。

その後のガバナー公式訪問例会では榎原ガバナーさまから地区目標「未来への架け橋をつくろう」のテーマでプロジェクターを使い、ロータリークラブの現状と課題を話されました。それを各クラブが意識して、ビジョンをもってデザインを描く。いかに地域に役立つ奉仕活動

続く▶

を行うか等を進める。また

- ①トップダウンでなく各クラブの自主的な取り組みが重要。
- ②奉仕、親睦、公共イメージの向上を。全員参加で。ロータリーを素晴らしいと感じてもらうこと。ロータリーを好きになってもらう、居場所に。
- ③「未来に架け橋をつくろう」も奉仕活動の実践に軸足を。

と私たち会員にわかり易く、将来のロータリーの目指すところをお話していただきました。

私たちの「岡山後楽園ロータリークラブは、既に会員皆さまとそれぞれの課題を実践し始めているな！」と自信がわきました。榊原地区ガバナーさまの課題を前向きにとらえ「エンジョイしながら」奉仕に喜びを持ち、クラブ活動を楽しんでいきましょう。

前編 台湾サイクリングチーム来日

光岡 政和

10月14日(月祝)、スティーブ氏が率いる台湾サイクリングチーム総勢27名が来岡し、サイクリング組19名と観光組8名に分かれて岡山満喫の4日間がスタートしました。1日目は「森の芸術祭」会場でもあるGREENable HIRUZENで展示作品を鑑賞した後、湯原温泉にむけて約30kmのツーリングです。ロードリーダーは光岡が務めさせていただき、強風の中、蒜山三山と川辺のススキから秋の気配を感じながらの道のりでした。午後は、湯原から勝山へ！勝山では旧街道の街並みを散策した後、津山へ向けて合計約60kmのツーリングです。午後のロードリーダーは大角さん。給水と給食は犬養さんが担当し、先回りして要所要所で休憩所を設置していただきました。また、パンク等のトラブル発生と道先案内のサ

ポートカーを鳥越さんと光岡がそれぞれ用意して対応しました。案の定、その日は4件のパンク等が発生し、サポートカーも大忙しの状況でした。宿泊先のシロヤマテラスでの宴会は大いに盛り上がり、その日の慰労と日台の親睦を深めることができました。

二日目は、津山から苦田ダムを経由して奥津溪谷までの風光明媚な道のりを満喫いたしました。奥津では「森の芸術祭」作品にも触れ、近代美術と自然の調和を楽しみました。二日目は全ての道のり約80kmのライドリーダーを大角さんが務め、「ナイスリーダーでした」とお褒めの言葉もいただきました。夕方には湯郷温泉に無事到着して、温泉で心身ともに癒されました。以上、前半の報告を光岡が担当いたしました。

後編 台湾サイクリングチーム来日 ～湯の郷→鶺鴒谷温泉→アークホテル→帰国～ トラック運転手 犬養 吉晴

令和6年10月16日(水)津山のシロヤマテラスを出発し、奥津温泉へ向かい苦田ダム周遊し、昼食は奥津振興センターに隣接する「にこのもり」でこだわりのカレーを食べて落ち着いた和室でしばし休憩。帰りは下り坂で山田養蜂場が経営するブンブンファクトリーでソフトクリームを食べ小休止、一路湯郷美春閣へ観光は奥津溪の「森の芸術」と「城東むかし町屋」を体験しました。この日は湯郷温泉の美春閣で宿泊です。

翌日は、和気の鶺鴒谷温泉まで30kmの行程殆どが片上鉄道跡の自転車道を疾走し、10時過ぎには和気の鶺鴒谷温泉に到着し、入浴の後、観光組と合流し、一路姫路城見学へ、夕方には鶺鴒谷温泉に戻り、そこに「ポリオ根絶サイクリングチャレンジ2024」の募金活動として自転車で日本を縦断している国際ロータリー東京地区(第2750地区)のパストガバナー宮崎陽市郎さんと榊原地区ガバナーが合流し台湾ロータリークラブサイクリングチームと岡山後楽園ロータリークラブより寄付の目録が手渡されました。

翌日は、プラザホテルで昼食を食べ午後は吉備路を

走行し国分寺へ行く予定でしたが、午前中のプラザホテルまでの行程で台湾のご婦人が転倒し前歯4本を負傷してしまうアクシデントが発生しましたが、岡村会員の対応により何とかサイクリングの行程を終了することができました。同日に別の行程として、鳥越会員、大角会員、藤原会員・藤原会員元同期幹事 谷口さん、西岡さん、そして入江さんは宮崎PGと尾道まで並走し、鳥越会員、大角会員は夕食会のアークホテルで合流しました。10月19日(土)の最終日は一同倉敷美観地区および大原美術館を観光し夕方岡山空港から無事に台湾へと帰国されました。

今回も長く複雑な日程を企画立案した鳥越会員、大角会員、藤本(隆)会員、大変お疲れさまでした。それから、さまざまなアクシデントに柔軟に対応してくださった光岡会員、岡本会長、三村幹事、藤原会員、芝田会員、歓迎会、出迎え、見送りをいただいた会員の方皆さんお疲れさまでした。とにかく、文章では伝えきれない1週間でしたが、会員それぞれの思いと機転で対応できたイベントでした。

(ワリカシイクラブナンジャナイカトオモイマス)笑



ひとり親家庭の子ども7人に1人が相対的貧困、母子家庭では約50%が相対的貧困であるといわれています。家庭の経済的な格差は、衣食住や学習の格差だけでなく、体験の格差にもつながり、将来の進路にも影響を与えているため、貧困が世代を超えて連鎖してしまうことが大きな課題となっています。また、ひとり親家庭の厳しさは、経済的な厳しさだけでなく、仕事も子育てもひとりで担う厳しさにあり、ひとり親家庭の体験の貧困に繋がっています。わが岡山後楽園ロータリークラブに何かお手伝いできるのでしょうか。

昨年は、一般社団法人岡山市ひとり親家庭福祉会景山会長をはじめ、関係者皆さま方と一緒に、わがクラブでは地区補助金事業としてイベント開催と入学お祝いオリジナル絵本の作成に取り組み、参加者には楽しい時間と「たったひとつの自分の絵本」の喜びを感じてもらえたと思います。

ひとり親家庭児童支援活動として継続事業となり、10月20日きらめきプラザ7階で、昨年と同様、イベントを開催しました。そして昨年は地区補助金事業により絵本の贈呈ができましたが、今年は社会奉仕委員会奉仕活動のた

め、わがクラブからの贈呈はありませんが、昨年同様ワークショップを開催し、親御さんからヒアリングするスタイルで小学校入学記念オリジナル絵本を作成することになったそうです。

今年もひとり親家庭福祉関係者、岡山大学、ノートルダム清心女子大学の学生のご協力もあり、300円の駄菓子買い物体験、個性的な缶バッジ作り、紙ケン玉作りができました。親子さんも喜んでおり、わがクラブの参加者も楽しんでいました。

1部15名、2部9名、3部14名が参加し、反省会では子どもたちからの楽しかった、また来たいという声をたくさんいただいたことを教えてもらいました。大成功で終わることができたと思います。関係者をはじめ皆さまが次回を楽しみにしておられると思います。次年度も継続して行われることを期待しています。



例会プログラム

9月

5日 9月生まれのスピーチ
9月生まれの会員

12日 ロータリーの友月間
ロータリーの友を読もう！
高原 弘海 雑誌委員長

19日 お月見例会（夜間例会）

薬膳について

26日 薬膳アテンダント/全日本さば連合会広報担当
サバジェンヌ 池田 陽子様

10月

3日 10月生まれのスピーチ
10月生まれの会員

10日 ガバナー公式訪問
地区ガバナー 榊原 敬様

17日 取りやめ

米山月間に因んで

24日 大角 雄三米山記念奨学会委員長 米山記念奨学生
スチ アスティアニ ラハユさん

31日 ロータリー財団委員会
委員長を拝命して
ーポリオ プラス ソサエティのご案内ー
那須 保友ロータリー財団委員長

行事記録

9月

5日 第8回理事会
アークホテル岡山

14日 クラブ米山記念奨学委員長
研修会ならびにロータリー
米山記念奨学生修了式
ANAクラウンプラザホテル岡山

26日 第2回ビジョン委員会
アークホテル岡山

26日 中條ガバナー補佐訪問
第3回クラブ協議会
アークホテル岡山

29日 地区大会記念テニス大会
岡山県総合公園

10月

3日 第9回理事会
アークホテル岡山

4日 地区大会記念ゴルフ大会
岡山カントリークラブ桃の郷コース

5日 ガバナー補佐・会長・幹事会
岡山コンベンションセンター

5日 RI会長代理歓迎晩餐会
ANAクラウンプラザホテル岡山

5日 あじさいのおか秋祭り奉仕活動
あじさいのおか牛窓

6日 地区大会
岡山ドーム

9日 県南16RC幹事会

木曾路大元店

12日 平松政次旗学童軟式野球大会
平松政次球場

18日 台湾サイクリングチーム歓迎会
アークホテル岡山

20日 ひとり親家庭福祉社会イベント
きらめきプラザ

31日 地区行動計画推進リーダー研修会
Zoom

31日 第9グループ会長会
岡山プラザホテル



9月26日
薬膳について



10月12日
平松政次旗
学童軟式
野球大会

編集後記

クラブ会報委員 福島 正春

季節の良い秋とはいえ、この異常気象には閉口してしまいます。毎日何を着ればよいのか迷うのは私だけでないでしょう。地区大会をはじめ各種の奉仕活動も順調に行われ、イベントに協力いただいた会員各位に厚く御礼を申し上げます。特に台湾との国際交流で、サイクリングを通じた友好に日夜尽くされた皆さまには敬意を表します。さて、ここにクラブ会報2号を発刊しました。原稿をお願いし、快くご協力いただきました会員の皆さまに深く感謝申し上げます。